

DEATH NOTE デスノート (2006)

DEATH NOTE

メディア 映画

ジャンル サスペンス ホラー 犯罪

製作国 日本

時間 126分

初公開日 2006/06/17

公開情報 ワーナー

【解説】

2003年12月、『週刊少年ジャンプ』で連載が始まるや話題沸騰となった同名コミックを、平成ガメラシリーズ、「あずみ2」の金子修介監督、「バトル・ロワイアル」の藤原竜也主演で実写映画化。ひょんなことから手に入れた“死のノート”を使って法の網をくぐり抜ける凶悪犯に次々と死の制裁を下していく一人の天才と、事件の捜査に乗り出したもう一人の天才による緊迫の頭脳戦がサスペンスフルに描かれてゆく。2006年6月と同年11月に、邦画初の前編・後編連続公開が実現。

名門・東応大学で法律を学ぶエリート大学生、夜神月。将来を嘱望される彼ではあったが、法による正義に限界を感じ、激しい無力感に襲われていた。そんな時、彼は黒い表紙に『DEATH NOTE』と書かれた一冊のノートを目にする。そこには、“このノートに名前を書かれた人間は死ぬ”の一文が。ためしに誘拐殺人犯の名前を書き込んでみると、翌日の新聞にはその男の獄中死が報じられていた。ノートが本物と悟った月は、自らの手で犯罪者を裁くことを決意するのだった。やがて連続する犯罪者の不審死が事件として表面化し、ついにインターポールが警察庁に送り込んだ天才“L”が事件解決に乗り出す。

【クレジット】

監督	金子修介	Shusuke Kaneko
企画	高橋雅奈 佐藤敦	
製作指揮	高田真治	
エグゼクティ ブプロデュー サー	奥田誠治	
プロデュー サー	佐藤貴博 福田豊治 小橋孝裕	
原作	大場つぐみ 小畑健	『DEATH NOTE』（集英社刊『週刊少年ジャンプ』 連載） （作画）
脚本	大石哲也	
撮影	高瀬比呂志	
美術	及川一	
編集	矢船陽介	
音楽	川井憲次	Kenji Kawai
照明	渡邊孝一	

録音	岩倉雅之		
装飾	高橋俊秋		
出演	藤原竜也		夜神月
	松山ケンイチ		L / 竜崎
	瀬戸朝香		南空ナオミ
	香椎由宇		秋野詩織
	細川茂樹		FBI捜査官
			レイ
	戸田恵梨香		弥海砂
	青山草太		松田刑事
	中村育二		宇生田刑事
	奥田達士		相沢刑事
	清水伸		模木刑事
	小松みゆき		佐波刑事
	中原丈雄		松原
	顔田顔彦		渋井丸拓男
	皆川猿時		忍田奇一郎
	満島ひかり		夜神粧裕
	五大路子		夜神幸子
	津川雅彦		佐伯警察庁長 官
	藤村俊二		ワタリ
	鹿賀丈史		夜神総一郎
声の出演	中村獅童	Shidou Nakamura	リューク